

**令和4年度 野田市岩木小学校老人デイサービスセンター
指定管理者管理運営状況調書**

担当課 高齢者支援課

評価基準	評価項目	指定管理者 自己評価	担当課評価	特記事項
利用者の平等利用が確保されること	①平等利用確保への取組	B	B	
施設の効用（設置目的）が最大限発揮されるものであること	①サービス向上のための取組状況	B	B	
個人情報の適切な保護が図られていること	①個人情報保護のための取組	B	B	
緊急時の危機管理体制が確立されていること	①緊急時の危機管理への取組	B	B	
	②要望、苦情への取組	B	B	
現金の取扱い等の経理処理が適切に行われていること	①現金の取扱い	B	B	
管理経費の縮減が図られるものであること	①指定管理に係る収支見込について	B	B	
	②経費縮減のための取組	B	B	
地元住民の雇用、物品及び役務の調達に際して、地元業者へ配慮すること	①地元住民の雇用及び地元業者への配慮	B	B	
事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	①人員配置について	B	B	
	②職員の指揮監督・管理体制について	B	B	
	③人材育成の取組状況	B	B	
<p>総合所見</p> <p>利用登録者数は、4月から12月まで54人から58人で推移しており、12月までの延べ利用者数は4,027人で、昨年度の同時期と比べ265人の減となっている。1日当たりの利用者数に換算すると、昨年度が18.3人であったのに対し、今年度は17.9人と、0.4ポイント減となっている。</p> <p>収入では、新型コロナウイルス感染症の影響や利用者の減少により収入減となり、決算見込みでは予算と比較し3,555千円の減となっている。3月までの延べ利用者を5,489人、利用料収入を39,549千円とし、指定管理料及びその他収入を合計した総収入を42,810千円と見込んでいる。支出では、決算見込みで予算と比較し2,326千円の減となっており、総支出合計は43,593千円と見込んでいる。</p> <p>業務内容については、従来行っていた小学生との交流や花見等の外出ができなくなったことから、レクリエーションの選択項目を増やすなどの工夫を凝らしていること、脳機能訓練及び口腔ケア等の利用者の日常動作における機能訓練を充実させていること、新型コロナウイルス感染症対策の強化、血圧測定による健康チェック、消耗品等の経費削減にも努めおり、仕様書に基づいた運営を行っていることが確認できた。</p> <p>また、施設の月例点検の報告において、問題となる危険箇所等がないことを確認している。</p> <p>以上のことから、管理運営について指定管理者として問題がないものと判断する。</p>				